

曾野木地域 第3回ワークショップの結果概要（案）

【対策案について】

■案全般〈考え方〉

- ・ 地域状況の変化に合わせて、必要な機能を増やすなどの柔軟な対応ができることが大切だ。現状をまかなえれば良いという発想ではなく、面積に余裕を持った施設配置にする必要がある。
- ・ 将来的には、他地域の保育園や小中学校との統合が考えられるかもしれないので、増築などに対応できる様に敷地に余裕をもって建物を建てる方が良い。
- ・ 曾野木地域でもこれから新たな施設が整備されると思っていたにも関わらず、施設再編するという話になったのには不公平感と納得できない気持ちがある。複合する施設の具体的なイメージを示すことで、多機能化、複合化によって住民にどんなメリットがあるのか教えてほしい。このままでは統廃合されて地域が先細りしてしまうという気持ちになる。

■案全般〈施設整備〉

- ・ 自治会館は広さが限られており、やれることが限られてしまうので、大規模なイベントが開催できる広いスペースが地域内に必要だと思う。人を集めるには場を作ると同時にソフト面での施策も重要だ。
- ・ いずれの案でも鐘木会館を新規整備施設に統合することになっているが、自治会にとって身近な公民館的な役割を果たしているため、場所が変わることに抵抗がある人もいるのではないかと懸念している。移転するにしても現在の機能やスペースを担保してほしい。
- ・ 鐘木会館は老朽化しているため、建替や移転はやむをえないと思う。
- ・ いずれの案でも、公民館周辺と団地の両方のエリアに子どもや中高生の居場所や学習スペースが必要だ。保育園児、小学生、中高生など、時間帯によって利用者が変わる明るい雰囲気のあるフリースペースがあると良い。
- ・ 高齢者と保育園に通う親子が同じ建物を利用することで、挨拶しあうといった日常生活の中での自然な多世代交流が生まれ、子育て世代が地域のことに関心を持つことにもつながると思う。

- ・ 高齢者と子育て世代の親子が場を共有するだけで交流が生まれるとは思えないし、風邪などの流行を考えると、行事の際に交流する程度が良いのではないか。保育園に通っているのは曾野木地域以外の人が多いので、保育園児と高齢者の交流が地域住民の交流につながるとも考えにくい。
- ・ 保育園利用者の多くが曾野木地域外から来ている。地域内の子ども達だけを対象とするなら、保育園の定員はもっと少なくても良いのではないか。他地域の住民のために新たに保育園を整備する様で納得がいかない。
- ・ 保育園は建物の老朽化が進み、園児数も減ってきているので、統合は必要だと思う。保育料が値上げされず、保育の質が低下しないのであれば、保育園が公設民営になることに抵抗はない。
- ・ いずれの案でも老人憩の家の風呂機能は廃止が前提となっているが、高齢者にとっては必要な施設だと思うので、民営化することも視野に入れて残す方が良いと思う。
- ・ 新規整備施設は高層にして消防団の倉庫なども整備し、避難所機能を持たせたい。東曾野木では消防団の体制を整えることも課題になっている。
- ・ どの案になっても公共施設までの交通アクセスが重要だ。十分な駐車場の確保、公共交通の充実、徒歩での安全な移動のための歩道や街灯の整備をしてほしい。

■A 案

- ・ 機能が集中した規模の大きい新規複合施設ができるので、地域のシンボルとなり、地域間の横のつながりが強化され多世代交流が生まれることが期待できる。
- ・ 1階部分にテナントスペースを設け、ランニングコストをまかなえるようにしてはどうか。
- ・ 施設が1か所に集約されるので、地域内のどこからでもアクセスしやすく、他の施設との連携もできる様に、公共交通や歩道を整える必要がある。
- ・ 保育園が統合されると保護者の数が増えるが、それに対応できるだけの駐車場が確保できるのか疑問がある。
- ・ 子どもの居場所が1か所に集約されるので、離れた場所に住む子どもの利便性や移動時の安全性が気になる。公民館エリアにも子どもの居場所は必要ではないか。

- ・ 新規整備施設に様々な施設が集約されるので、他の案より施設整備が終了するまでに時間がかかり、完成までの期間に不便が生じるのではないかと心配だ。工事中の暫定利用の計画も含め、スケジュールを示してほしい。

■B案

- ・ 地域の一体感は地域住民の意識の問題なので、コミュニティの拠点施設が2か所になったからといって、一体感をつくるための妨げにはならないだろう。曾野木地域は範囲が広いので、1か所に集約するよりも小学校区をベースに2つの拠点をつくる方が活動しやすいと思う。
- ・ 新規整備施設に保育園と併せて多世代交流機能を整備とあるが、全ての施設が敷地内におさまるか疑問がある。いずれの機能も中途半端になってしまうとしたら複合化がメリットではなくデメリットになってしまう。どんな施設がどのくらいの規模で入るのかを具体的に示し、複合化のメリットを伝えてほしい。
- ・ 新規整備施設に公民館機能が一部移転することで、大人の目の届く範囲で子どもたちの遊び場が開放されるのは良いことだ。
- ・ 公民館周辺にも高齢者の居場所を残す必要があるのではないか。
- ・ 2つの拠点を整備するのであれば、車がなくても双方を行き来できる様に公共交通を充実させ、歩行者専用道路や歩道の整備も行ってほしい。歩くことは子どもの健康づくりにもつながる。

■C案

- ・ 曾野木保育園の駐車場問題が改善されないのは問題だ。
- ・ 第二曾野木保育園の隣には広い公園があり、向かい側には田んぼもある。公園を活用したり、田んぼを購入すれば駐車場は確保できるのではないか。公園は園庭としても利用できると思うので、第二曾野木保育園に曾野木保育園を統合するのは良いと思う。
- ・ 新規整備施設に保育園が統合されないと多世代交流が促進されないので、子どもが集まれる機能が付加されると良い。
- ・ 曾野木保育園には周辺の市営住宅に住んでいる人が多く通っているが、車を持っていない家庭もあるので、第二曾野木保育園まで徒歩で通うのは大変ではないか。

- ・ 老人憩いの家の機能が完全に廃止されてしまうと高齢者の居場所がなくなってしまうので、どこかには集まれる場が必要だと思う。他の案同様に、新規整備施設に機能移転してほしい。

■新規提案

- ・ A案では公民館エリアの施設が足りなすぎるので、子供たちの居場所となるフリースペースなどの身近に必要な施設は整備してほしい。
- ・ B案では同じくらいの規模で2つの拠点整備されるが、地域の中心となる施設は必要だと思うので、B案の新規整備施設の面積を増やし、多世代、子育て世代向けの複合施設としてA案レベルにまで充実させてほしい。
- ・ B案の新規整備施設を増やしA案レベルにまで充実するとコストは増えると思うが、D案の様に保育園を全て統合したり、民間運営のテナントスペースを設けたりすることでコストは削減できるのではないか。
- ・ 地域内の子どもだけのために保育園を整備するなら、さほど大きな保育園は必要ないと思う。生徒数が減少している東曽野木小学校の敷地を利用して建てることも考えられるのではないか。

【評価軸と評価結果について】

■評価全般

- ・ 評価内容は概ね妥当だと思う。
- ・ 各施設、特に新規整備施設にどんな機能がどのくらいの規模で整備されるのかを明確にしてもらわないと、評価の妥当性が判断できない。
- ・ 今後、社会状況が変わっていくと思うので、現段階のコストの数値はあてにならないと思う。住民は財政的なことより、こういう施設やサービスや機能がほしいという視点から議論すれば良いのではないか。案を選択する際には、コスト以外の項目を重視したい。
- ・ 財政負担の軽減は必要だと思うので、コストと将来的な機能充実の視点を踏まえるとB案が妥当ではないか。

■課題解決の狙いごとの評価軸と評価内容**①過度な財政負担が将来世代に残らない**

- ・ コスト削減のためには、民間運営のテナントスペースを設けるなど民間活力を積極的に導入する必要があると思う。

②地域のまとまり一体感を醸成する

- ・ A案とB案とで文章の内容は同じなのに評価結果が異なっている。両方◎ではないだろうか。
- ・ 拠点となる施設を1か所に作ったからといって、地域の一体感ができるわけではない。一体感ができるかは拠点の数の問題ではなく、ソフト次第だと思う。

③子育てしやすいまちをつくる

- ・ 保育園の駐車スペースが足りていないため送迎時に不便を感じている。その解消が子育てしやすいまちの要素になると思うので、「駐車場の大きさ」も評価軸に入れてはどうか。
- ・ いずれの案でもことぶき保育園の駐車場の課題がそのまま残るとしているが、周辺の公園の駐車場を使って良いことになったので、その公園の無断駐車対策ができれば課題は解決されると思う。
- ・ 保育園さえあれば子育てしやすい環境になるわけではなく、気軽に親子で遊びに行ける場所も必要だ。保育園の整備状況だけで評価がされるのは不十分だと思うので、「保育園以外の親子で集える場が確保されるか」を評価軸に加えてほしい。

④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくる

- ・ 子どもたちにとっては家の近くに居場所が必要だと思う。「小学校区を基準にして子どもの居場所が確保されているか」を評価軸に入れてほしい。

⑤地域住民が集え地域外からも人を呼び込める施設をつくる

- ・ 地域内にあまりない飲食店が入れば、地域の人に喜ばれ、人が集まる場になると思う。「民間のテナントスペースが入る可能性」を評価軸に入れてはどうか。

- ・ C 案では新規整備施設に小規模な集会所を整備する程度なので、「地域外の人を呼び込める場所が確保できている」とは思えない。評価が◎なのは違和感がある。

⑥アクセスしやすい公共施設配置とする

- ・ 新規整備施設に民間の飲食店などの地域内の住民にとって魅力的な施設が誘致できれば、地域内から新規整備施設へのアクセス性が重要になるが、できない場合は地域外に行く必要が出てくるので、市の中心部とのアクセス性が重要になってくる。
- ・ C 案と D 案とで差があるとは思えないのに、評価結果が異なるのは疑問だ。コミュニティバスなどで施設アクセスできる仕組みを作れば、評価は良くなるのではないか。
- ・ バスの乗り入れができる可能性がある、という「可能性」で評価をしているが、実現する保証がない事柄で判定をするのは問題があるのではないか。
- ・ 歩道が狭く街灯が暗いため、接触事故が発生している現状を考えると、公共施設に行くまでの道の安全性を確保することも大切だと思う。「アクセス上の安全性」を評価軸に加えたい。

■新たに加えるべき評価軸

- ・ 課題解決のねらいの中に、安心、安全なまちをつくるという防災の視点がないので、「防災拠点となる場所が確保できるか」も評価軸に加えたい。

【その他】

■検討の進め方

- ・ 提示されている A~C 案のいずれかを選択するのではなく、それぞれの案を改良した案や新しい案も含めて比較検討したい。
- ・ 今回提示された各施設の内容が漠然としており、これまでのワークショップで出した意見が反映されていると思えない。もっと具体的に機能や規模を想定した上で話し合いたい。

■情報提供

- ・ 新規整備施設の完成予定時期など、整備に向けたスケジュールを知りたい。
- ・ 施設再編の模式図を見ても再配置後のイメージがわきにくいので、他地域での公共施設の配置例や複合施設の事例を複数提示してほしい。

■提案

- ・ 将来的には曾野木小学校と東曾野木小学校を統合することも視野に入れてはどうか。
- ・ 曾野木に住んでいる人を優先して保育園に入れるようにできれば、自宅に近い保育園に入れるからと曾野木に移り住む子育て世代が増え、人口を増やすことができるのではないか。